

高退協ニュース

高知高退協
事務局
2000・9・19
No.106

高知県高等学校退職教職員協議会
〒780-0850 高知市丸の内2丁目11-10
TEL 088-1822168
088-1822168
088-1822168
088-1822168
088-1822168

夏季学習講座

楽しく盛況裡に終わる



本年度の夏季学習講座が8月29日、おなじみの高知城ホールで開かれました。宅間一之氏の「今地中から習うもの」、榊原忠彦氏の「寺田寅彦と連句」、いずれもお二人の日ごろの研究の成果をもとに、新鮮で興味あふれるお話でした。会場は時に笑いに沸き、

親近感に満ちた一時になりました。

学習講座の参加者45名、5時からの懇親会の参加者32名。有益で楽しい一日でした。

なお、お二人のお話の詳細は、年末発刊の機関誌に載ります。

機関誌「こうたいきょう」

原稿募集

12月発行予定の「こうたいきょう」第21号への皆さんの寄稿と同封のハガキに「近況報告」を書いて返送をお願いします。

締切り 10月20日



研修旅行のお知らせ



7月ニュースで予告の研修旅行が下記のように決まりました。今年はこの計画で実施する事になりました。その頃は、古都奈良は紅葉に彩られ清澄な山の空気が漂い、古い寺院や仏像に出会い、その歴史とロマンに浸りたいと思います。夜はゆっくり奥香落温泉で旧交を暖め癒しの旅といたしましょう。是非ご参加くださいますようお願いいたします。

記

- 1、旅行日時 平成12年11月7日(火)～8日(水)
- 2、行先行程 奈良室生寺・明日香村・奥香落温泉

11月7日(火)	高知 龍国IC (瀬戸大橋 山崎道 西名阪道)	天理IC	女人高野室生寺参拜
	7:00 7:30 SAにて昼弁当	13:30	14:30-15:50
車窓より奥香落温泉の紅葉を眺めながら 奥香落温泉 (泊) ☎ 0745-94-2231 17:10 夕食はキツ・イリッパ・かきの名物鍋を囲みます			
8日(水)	本ホテル 飛鳥時代の藤原京 日本書紀の舞台 明日香村(高松塚古墳・石槨古墳・亀石・飛鳥寺など)		
	8:30 10:20 (専用ガイドと一緒に 徒歩中バスで観覧)	12:40	
昼食は高取で海鮮料理 (西名阪道・山崎道・瀬戸大橋)			
	12:50 - 13:40	龍国IC	高知
		19:30	20:00

- 3、旅行費用 35名参加の場合 29,500円
 - 30名 " 31,000円
 - 25名 " 33,500円
- なるべくお誘い合わせの上多数の参加をお願いします

- 4、申し込み 研修旅行担当へ 西 込 曠 ☎ 875-9029
- 締切10月10日 古 味 忠 男 ☎ 873-7123
- 西 三 谷 隆 彦 ☎ 831-4266
- 西 田 令 子 ☎ 842-2070



草声老語

世紀末だからか、腹立たしいことが多い。頼みの年金は削られるし、介護保険料は天引きされる。さらに医療費の自己負担も増えるという。一方政府は、旧長銀や日債銀の乱脈融資の不始末に約7兆円の血税を投入して、バブルに踊ったゼネコンなどの穴を埋め、いずれも10億円という破格の値段で内外の資本に売り渡した。企業献金のお返しである。大企業も弱者には自己責任を強いるが、己れの不始末は税金で穴埋めして恥じず、毒素入りの牛乳やブレキのきかない車まで売るのである。等しからざるを憂えるものでもない。貧しきを食いに、己が私腹を肥やす連中が許せないのである。世間を驚かせた「17才」はこうした世相のなかで育

った。バブルのなかで生まれ、心の荒廃のなかで多感なときを迎えた。子どもたちの危機に、政府の教育改革国民会議は個人の尊厳を基調とした教育基本法を「改正」し、さらなる選別の教育をすすめるという。子どもの成長をゆがめてきたのは、民主教育への攻撃といたす。子どもたちを競争させる教育システムだが、文部省はなんの反省もない。それどころか「奉仕活動の義務化」で「自己犠牲」を教えるという。盗人だけではない。余りのひどさに、いささか抵抗のあった孔子の言葉が頭をよぎる。「政を為すに徳を以てす。居て、衆生のこれを共るが如し。」徳を以て為すことができないならば、北辰をもって代えるしかない。(ち)

Vertical handwritten notes on the left margin.

素果寺残日録
坪井 幹之

晴山雨説

今年のベストセラー「巨泉」には、老後を楽しく生きるための不可欠の条件として
(1)健康(2)良きパートナー(3)複数の趣味(4)財政的裏づけの四つが上げられている。趣味が複数になっているのは、いわゆる「晴山雨説」の意も含んでいる。あえてわが身の趣味を上げれば、登山、旅行、読書、陶芸と言ったところ。最近は天気の良い山に登り、雨の日は読書で日を過ごすことが多い。「晴山雨説」か。さて、その読書であるが、

まったく乱読の極み。六月以降に読んだ本の中から主なものを羅列すると次の通り。藤崎慎吾「クリスタルサイレンス」、ジョン・ダントンの「ネアンデルタール」、佐藤勝彦「相対性理論を楽しむ本」、山本周五郎「町奉行日記」、サンテグジュペリ「星の王子さま」、アーサー・C・クラーク「2019年7月20日」、檀一雄「火宅の人」、瀬戸内寂庵「般若心経」、大橋巨泉「巨泉」、陳舜臣「チンギス・ハーンの一族」、池宮彰一郎「本能寺」、深田久弥「百名山以外の名山50」、山藤章二「似顔絵」、F・キングドムウォード「ツアンボ一峡谷の謎」、不破哲三「レニンと資本論」……などな

短歌

「秋葉祭礼」連作抄

榊原忠彦

うすけはひ なれもへいけの血なれかや
舞ふをさなごの 太刀にちるはな

しまらくの やはらな舞ひよ
十余尺 とりけのぼうは 飛ぶやうけたり

あらみたま みこしゆるがし荒れくるふ
わくごたのもし むぎ荒るるとも

しいれえの くさおほく伏すやまざとも
練りにふまれて はるまつらむか
(「しいれえ」は曼珠沙華の方言)

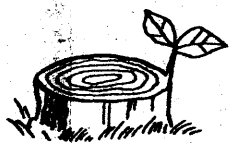
みつまたの はなのはたけのねんぶつどう
なつの月夜は さんざめくらむ
(都部落にて)

人の心深く壊されるらしも少年の恐喝五千余万円
後輩をバットで打ちし少年よ君の屈辱ほぐされざり
しか

憲法の改悪を是とする若者が増えゆく無気味この世
紀末
命をば大切にする優しさを孫の臓腑にしみわたらせ
たし

かく暗き時代にありてもやはらかに生きよと初夏の
緑ささやく

山本晶子先生
歌集「新緑」を出版されました



8・1平和を願う

県民のこゝろを開く

敗戦55年目の8月15日、午後六時から八時まで、高知城ホール二階に百二十名の参加者を得て、標記の集いがあった。高退協も実行委員会の一団体として、集会成功に向け努力しました。(会員19名参加)

会は、センター合唱団の素晴らしい歌声で開幕。西森稔県退協会長が主催者あいさつ、光富さんの司会で進行。春名代議士等からのメッセーの紹介後「私と8・15」と題して次の四名の方からリレー・トークが続きました。玉川潔氏(治安維持法同盟)が治安維持法について、野村丞子先生(退婦教)が軍国主義教育の反省について、河内勝美先生(歴教協会)が教科書をめぐる問題について、最後に山原先生が戦中・戦後そして現今の政治状況について、意見発表がありました。

フロア発言として和田忠昭氏が原水禁運動について、窪田充治先生が第四回全国戦跡シンポジウムについて発言後、集会アピールを採択、岡崎高退協会長の閉会あいさつで全日程を終了しました。

私の健康法

塩田能子

学生の頃卓球に興味を覚え、ラケットにさわることもなかった。昭和62年高知ろう中学校へ転勤。6月の高知市体育大会で卓球の応援に行き、生徒達が声を出し、積極的に取り組む姿に感動する。熱心な指導者のもとで日々心技をみがき、毎年四国大会、全国大会に出場し、全国優勝も成し遂げた。

平成8年経験のある指導者が転出し、未経験の私が顧問となる。悩みながら生徒と一緒に過ごし、ボールを拾い少しずつ卓球に慣れピンポイントの域を脱し互いに打ち合うことが出来るようになった。2年間四国大会、全国大会へ出場できたのは生徒達の熱心な練習への取り組みと、先生方の応援のおかげであった。

退職後、5月初めにヘルペスにかかり、ストレスが原因だと云われた。ろう学校卓球部顧問の松岡先生から声をかけていただき、卓球部練習のお手伝いをさせていただくことになった。手伝うからには私自身卓球の技術を身につけなければと思い卓球教室に通っている。

年を取ってから新しいことを身につけるには時間がかかるが少しでも覚えたものを生徒達に伝えたい。生徒達の笑顔、熱心に取り組む姿勢等にかかわれることが私の健康法の一つだと思っている。

早朝ラジオ体操の効用

私は横浜公民館長としてこの八年間、8月1日から30日まで、早朝ラジオ体操を地域の子ども達と続けてきました。お陰様で夏負けせずに九月を迎えることが出来ました。

継続は力なりといわれます。お互いに自分に合った方法で健康法を実施し、健やかに加齢し、一生を終わればと念願しています。(岡崎)

広島へ

山本景子

8月6日、広島市で目覚める。看護婦生活を終えたばかりの疲れてる50代の女性と共に広島市で3日目の朝を迎えていました。山手のユースホステルの食堂で二人は8時15分、平和への黙祈をささげました。3千円の宿は若者と外国人で占めていました。3日、広島市の被爆者の妻の苦しい人生の旅の話聞いて涙を流し、中国の方、田(でん)さんの胡弓の音に合わせた歌を聞き、50年一昔の悲しみが蘇り、戦争の悲劇と恐怖を思い起しました。4日、5日と広島広島市内を廻り、記念公園の周りには幾筋も川が流れ、焼け死んだ人々の痛みの声が水の底から聞えて来るようでした。5日夕刻、静かにデモ行進をするカトリック教会の行列の後について歩いてやつと心が落ち着いたものです。高校生も大勢加わったデモ行進は、高知でヨサコイを踊りまくっている人々と違って地道な行動に感動致しました。街で印(はん)屋を

営む市民と語り合う機会もあって、年々日本人の広島市への関心が薄れていくことを嘆いておりました。

この一年余り前、東京出身の高井さんという若者と知合う機会があり、彼と組んで安芸市で平和学習会を始めて、17回目の企画を現在案内中です。今でもない間に合わない。少しでも多くの人々に日本の実体の真実をお知らせしたいと考えて行動中ですが、人々は忙しい、忙しいとなかなか集まって下さいません。

このような中、安芸市では昨年9月急上昇した自衛隊誘致が活発となり、安芸市の各家に演習地、駐屯地の候補地も決まりかけている報告が入っています。一方誘致反対は気が上がり先細りとなつていきます。安芸市民の無関心さがそのまま私たちの学習会への呼びかけにも感じないことと並行していると思えます。それでも何とかミニ平和学習会の講演を今しばらく続けてゆきます。農業に関する実践も多々あり、両立の困難を感じつつ続けるしかありません。

『老・眼・鏡』

「本能寺」を読む

みなさん御存知のように私達坪井さんのお世話で「読書会」をやっています。二カ月に一回のわりで集まり、四方山話に花を咲かせています。

次の「読書会」(九月二十八日)では、「本能寺」(池宮彰一郎作)(毎日新聞社)をやることにしています。

まだ十分に読みこんではいませんが
一、約百年つづいた戦国時代は、「下剋上」(げこくじょう)のなんと苛酷な世の中だったことか。
二、その戦国の世を統一し、新しい戦のない世を創り

第二回囲碁大会ひらく

八月六日(日)の表記大会には十四名が参加した。初参加の私学関係三名の健闘が目立った。結果は次の通り

- 優勝 森 俊之 (会員)
- 二位 (三勝一敗) 藤原 脩 (会員) 井脇伸之 (土佐女) 松崎 喬 (高知)

第1回高知県高齢者大会

山原健二郎先生 県大会で記念講演

高知県高齢者運動連絡会情報
◎本年度の総会並びに学習会が七月二二日・共済会館で開かれ、篠崎次男本部署務局長(立命館大学教授)が講演
◎第一四回日本高齢者大会 十月二・三日・横浜市 学習講座・分科会・特別講座 記念講演(小山内美江子氏)
◎第十四回高知県高齢者大会 (折り込み参照)

十月二日(土) 一三時~一六時

高知女性センター「ソール」基調報告・介護保険の討論 記念講演「輝いて生きる」講師 山原健二郎先生 沢山の参加を期待しております。

卜報

7月19日 門田豊先生、8月23日 永江純仁先生が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。

俳句

7月17日(月)

鏡村、樽の滝、吟行

合田青幹

滝壺へ行く手を阻む巨岩かな
万緑の山重なりて道絶ゆる

田所たねを

風の道ありし所に隠れ滝
一瞬の速さアメゴの岩に入る

吉本伸秋

土止めのごとく走り根滝の径
老鶯や峽の木立を貫ける

中内みち代

滝飛沫浴び滝風に煽らるる
滝の威に座して動かぬ男かな

小笠原さちを

小波の広がる迅さ涼しけれ



7月24日(月) 第3回大野見合同句会

合田青幹

一邸の高き天井涼しけれ
青田風静寂庵を吹き抜くる

田所たねを

大野見の村の名聞けばはや涼し
ハンモック良くぞ男に生まれける

吉本伸秋

老鶯の声茶畑をころげ下り
段畑に沿うて番茶の芽吹く畝

中内みち代

お茶堂に入れ替る人涼しけれ
鹿の子百合咲かせ豊かや峽の家

小笠原さちを

山清水育てし鯉の一抱へ
招ぜらる静寂庵の涼しさよ



林 勤

七月二十六日、「教育改革国民会議」が三つの分科会報告を発表しました。①教育基本法の改悪、道徳教育の強化で、天皇を中心とする「神の国」と大企業に奉仕する国民を「心の教育」で育て、②徴兵制と表裏一体の奉仕活動を強制しようとしています。全国的な反対の大運動を巻き起こしていく必要があります。

高知県立高等学校教育問題検討委員会の「答申」が一月に出版されます。その特色は、①一学年毎の規模が、全日制本校・二学級、分校一学級二〇人、定時制一学級一〇人を割った学校

は二、三年で分校化・廃校、②定時制の拠点校づくり、総合学科への再編、中高一貫校の設置と周辺校を巻き込んでの再編等、統廃合をからめつつ進めるというものです。高知県の高校が根本的に大きく変えられようとしています。高校の在り方を地域、保護者、中学校とともに考える運動の早急な取り組みが大切になってきます。

八月、人事院勧告がベアなし、一時金〇・二月カットで出されました。昨年度の〇・三月カットと合わせて〇・五月（平均で年八万円）カットで、率にすると二〇年前の水準に逆戻り。九月に県の人事委員会と交渉も、国準拠を繰り返し答弁するのみ。絶対に許せま

高退協活動日誌



せん。人勤体制の打撃が急務になっていきます。昨年度からの強行された勤勉手当への「成績率」導入に対しては、高教組はこの夏、野村・前書記長をILOに派遣、新たな運動の展開を目指しています。派遣にあたり高退協の皆様が多額のカンパをお寄せ下さいました。この場をお借りしてお礼申し上げます。（執行委員長 井垣政利）

【7月】

18日 7月度事務局会
19日 「子どもと教育を守る会」が大崎県教育長と懇談

21日 門田豊先生の葬儀に会員多数参列
22日 高齢者運動連絡会主催の講演会に古味、岡崎参加

27日 高知市中心部に公的医療施設の整備を求め、医療施設整備の決起集会に会員四名参加
29日 高知短大弥永教授出版記念祝賀会に岡崎会長出席

【8月】

6日 第二回囲碁大会開催
14名参加

12日 山原先生をねぎらう会に会員多数が参加
15日 「8・15」平和を願う県民のつどいに19名参加

18日 8月度事務局会
22日 直接請求運動の中間決起集会に会員8名出席

26日 永江純仁先生葬儀に中岡副会長参列
29日 夏季学習講座
31日 高知県高齢者運動連絡会幹事会に古味、林出席

【9月】

2日 三千万署名スタート
式に岡崎会長出席
9日 全教高知市教組結成
10周年祝賀会に岡崎会長出席

市民病院の署名

三万人を超える

市民病院に関する署名運動では四十数名の会員の方が受任者になって下さり、カンパもいただくなど、物心両面のご支援、ご協力ありがとうございました。

おかげさまで署名は三万人を超えました。この数は、私達の要求を審議する臨時市議会を開かせるための人数に高知市有権者の五十分の一、五一七二人の六倍、昨年四月の高知市議選（定数四十人）の上位十人の得票数にほぼ匹敵、高知市有権者の十二%、...というたいへん価値のある数です。

また、①自署で押印が必要という面倒な署名、②八月の猛暑の中、僅か一カ月の短い期間等という厳しい条件を考えると、「市民病院はどうしても市中心部に」という強い願い。市民の意向を確かめずに市民の病院を市中心部から郊外へ移転することを決めた市当局と市議会への憤り。」の現れだと思えます。

今回の直接請求の署名は、署名をして下さった三万人以上の総てのひと受任者と

が対話をし、署名の趣旨を説明しての署名である点があり、本市では三例目でありました。

「この署名こそ本格的な住民運動であり、市民病院の問題点を広く市民に知らせたし、市政の問題点に取り組み目を開かせたのではないか」と分析して下さった方もありました。

三〇八七八人の署名は五日に高知市選管へ提出しました。選管の審査、一般への縦覧を経て私達の会に返されます。それをもって私達は市長に要求事項の本請求を起こします。その請求を審議する臨時市議会は十月十日過ぎと思われま

それまでの間、市長や市議会各派との交渉、当日は市議会傍聴席内外へ溢れるばかりの大動員で、市民の医療を確保するため「市民病院移転後も公的医療施設を市中心部に整備させるよう」皆様と共に取り組んでいきたいと思えます

以上「簡単ですが経過と今後の見通しを述べ、お礼と報告にさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

平成十二年九月十日
市民の健康と命を守る運動実行委員会 林勤

大相撲を支える人々(14)

若者頭、世話人
若者頭（わかいもの）がしらは十両、幕下の引退力士で協会へ残ることを希望し、若い力士に対する指導力、事務能力がある者から採用される。

若い力士の世話と指導、勝負の記録、表彰式の連絡進行、進行時間の調整、巡業や花相撲のお好み相撲の決定、部屋の事務や雑用、協会と力士間の連絡、などが仕事である。

毎場所千秋楽の優勝力士表彰の時に、優勝力士が受ける優勝賜杯や優勝旗、等を土俵下で受け取る介添え役がよくテレビに映るが、これは若者頭である。

また、早朝稽古で親方が出てくるまでの間、若い力士の指導や監督をする。単に「かしら」とも言われている。

世話人（せわにん）は十両、幕下の力士が引退して、なお協会に残りたい者の中から採用される。

仕事は、部屋や相撲場の雑務、巡業での荷物の運搬や整理の監督、若者頭の助手のようなこと...等であるが、必ずしも一定していない。

若者頭、世話人共に定員八名で、現在は八名一杯である。採用資格は右に述べたが、例外的に元幕内力士が採用されることもあり、現在は夫々に二人ずつの元幕内力士がいる。採用時に特別のテストなどはない。

採用されて所属する部屋は本人の希望によるが現在の八人は現役時代の部屋に所属している。それは当然と思われる。

給料は本給と手当てからなり、採用されると支給され、年に一回昇給するが、その額や給与体系などは公表されていない。

採用時の年齢制限はないが、定年は六十五歳である（次回は相撲博物館などに ついて述べます）